



2530

いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：山野辺倉平 幹事：阿部 弘行 発行：会報・広報委員会

第 2839 例会 (14 号) 2012 年 10 月 11 日 (木) 曇り

会員卓話 SPEECH

「私の戦争体験」

清水 俊 政 氏



家の中を片付けていたら、偶然ある写真がでてきた。写真を撮った記憶がスッと抜けている。最近物忘れが多くなり、耳が遠く、思考力も衰えてきた。あまり認知性が進まないうちに当時のこの話をしようと思った。日ごろ日記をつける習慣がないため、日付等

が定かではないことをお許しください。

支那事変、上海事変ごろから、次第に戦線が拡大し、軍の将兵が不足となり、昭和 18 年、学徒動員令が発令された。文科系の大学、専門学生は授業を一年短縮し徴兵されます。学徒出陣といわれ、明治神宮外苑の国立競技場で盛大に出陣式が行われました。昭和 19 年には文科系と共に理科系も 1 年短縮になって陸海軍に招集される。

更に昭和 20 年には卒業が半年短縮になる事態になった。私たちも 20 年 3 月に仮卒業し、東部軍管相模原の軍医学校に入学が決まりました。常磐線で上京中、勿来近辺で山側の銃戸を降ろすよう車掌から指示があった。米国に向けて偏西風を利用した風船爆弾を飛ばす基地が近くにあるとのことだった。日立近くになると今度は海側の銃戸を降ろさせた。日立の工場が米海軍の艦砲射撃を受け、大被害を一般人には見せないためであった。電車は空襲で北千住で停車、路線伝いに南千住まで歩かされ、南千住から乗り換えて上野駅にやっと到着。しかし人影はまばらだったが、省線電車が運行していた。乗車すると神田でまた空襲で停車し、発車時間は不明。ふと神田に憲兵司令部があることを思い出し、司令部に入校遅刻の証明書の発行を依頼したがそれどころではないと断られた。しかたなく新宿から電車が出ている情報を得、新宿まで徒歩で向かう。東京大空襲の 2、3 日後だったこともあり、辺りは全くの焼野原と瓦礫の山で、人影もなく通行人もいなかった記憶がある。なんとか新宿駅に到着したが、駅にはマバラの人影があるだけで、とりあえず構内の電車に行先もわからず乗車した。暫くすると学帽を被った私と同じ姿の学生がゾロゾロ乗車してきたこともあり、一安心と疲労とで眠り込んでしまった。突然隣

りから着いたぞと声をかけられ、どこの駅に着いたのかも分からず皆の後をついて歩くと目的の軍医学校があった。早速、軍服を配られ、着替えて食堂に入ると食卓に赤飯がもってあった。我々の入学祝いかと口に入れるとなんと初めて食べる高粱飯であった。以来卒業まで高粱飯が続いた。入校後は毎朝 5 時起床、駆け足で校庭に集合、点呼、訓辞の後、4 ~ 5 km を藤沢方面に駆足、帰校後、朝食、午前は軍事医学の講義であった。

3、4 年後であったか、函館の日赤の応援に内科、小児科、外科の 3 名一組として行かせられた。対象は樺太、千島からの引揚者の病人の治療。引揚船が着くたびに、多数の患者がいた。一番多かったのは麻疹(ハシカ)で、樺太には永年麻疹がなかったため、免疫力のない大人、老人が船内で感染した。ジフテリアで気管切開の必要な重症患者もいました。軍医学校で習った発疹チフスも多数いた。伝染源はシラミです。廻診の度に白衣にシラミがついてくる。午後は軍事訓練と軍陣医学の授業。中学校時代三八式歩兵銃を担って東西軍の遭遇、実弾射撃や手りゅう弾の投擲、銃を持っての歩伏前進等の軍事訓練を受けたことがあるが、軍医、衛生兵は、国際法上武器を上持てなかったで、この訓練は簡単なものであった。授業中度々空襲警報での避難命令で授業が中断し、なかなか講義が進まなかった様に覚えている。

空襲は昼夜の別なくあり、ある時私を含めて数名が避難が遅れグラマン戦闘機の機銃掃射を受け、ある夜は何十機かの B 29 が南東に向い横浜方面が夜空を真紅に染めているのを見た。横浜大空襲であった。もうこの戦争は勝てないと思っていたが、不思議なことに負ける感覚はありませんでした。不思議です。

その後、6 月に軍医学校を卒業し、見習士官に任命され、東北軍管区に配属される。初めは仙台の陸軍病院、次に鳴子陸軍病院に配属。次に、仙台の川内にある野砲連隊付軍医に配属。仙台に帰り部隊が岩手県へ移動命令が出ましたが、移動する前の 8 月に終戦となりいわゆるポツダム少尉となって除隊。私の戦争体験が終わりました。



★本日の例会案内 10月18日(木)PM12:30~
職業奉仕委員会担当
お食事メニュー=チキンのトマト煮

★次回の例会案内 10月25日(木)PM12:30~
外部卓話 関彰商事顧問 (2820 地区パストガ
パナー) 萩原 亢雄 様
お食事メニュー=鮭の茸あなかけ



2012~2013年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕を通じて平和を」

Peace Through Service

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：阿部幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・四つのテスト（飯野光世会員）



飯野光世会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○米山記念奨学生 ソータイさん

○新入会員 鈴木浩さん

関彰商事エネルギー事業本部東北支店支店長

昭和35年いわき市植田生まれ。現在52歳。趣味は旅行。毎年1回は海外旅行へ行くと決めている。社会奉仕の団体に所属したことは今まで一度もなく、今回入会できましたこと感謝いたします。宜しくお願ひいたします。



◆幹事報告

- 郡山RCより会報が届きました。
- いわき経済同友会より創立記念公開講演会の案内が届いています。
- いわき市国際交流協会、会報「ワールドアイ」が届いています。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
10月11日	52名	30名	—

◆米山記念奨学金委員会（関口武司委員長）

本日の寄付者：関口武司さん、志賀弘昌さん、山野辺倉平さん、阿部弘行さん、吉田義尚さん、酒井睦雄さん、山崎慶一さん、黒須幸雄さん、鈴木東雄さん。
 今月は米山月間ですので、特別寄附金を今回を含めて4回行う予定です。各クラブで決定した5,000円、個人で任意にいただく特別寄附金が11,000円、合計16,000円を2530地区の米山奨学会の委員会では目標に掲げています。同じ委員会の酒井副委員長から米山梅吉という本をいただいた。私なりにしっかり理解して11月8日の卓話の時には米山梅吉の生涯についてお話ししたい。

◆雑誌委員会（吉田義尚副委員長）

ロータリーの友「見どころ 読みどころ」
 横組 6ページ「今も輝くシェルドンの職業奉仕理念」15ページ「米山記念奨学会資料」24ページ「リスボン発見」…国際大会「リスボン」を紹介。とても素朴で、ヨーロッパの中では身近に感じられる国。
 縦組 2ページ「思考は世界とともに 実践は地域と共に」7ページ「品質管理を徹底したワインづくりを続ける」ワインは欧州が主流だが、アメリカ産を使用している。香が強いのが特徴。11ページ「家で楽しむワイン」26ページ「珍しい三クラブ友好締結」喜多方、浪江、白河RCの三クラブが友好協定を締結した記事が載っている。ガバナーが斡旋しているようだ。

◆スマイルボックス委員会（大久保健蔵副委員長）

♥山野辺倉平さん（清水先生卓話よろしくお願い致します）♥阿部弘行さん（清水先生卓話よろしくお願い致します。何度も日程変更してすいませんでした。関口先生米山出店よろしくお願い致します）♥鈴木東雄さん（今月は休みがちでスミマセン）♥坂本佳友さん（本日もよろしくお願い致します）♥清水俊政さん（下手な退屈の話の卓話ですがよろしく）♥黒須幸雄さん（結婚祝ありがとうございます）♥山城孝一さん（28回目の結婚記念日です。ありがとうございます）♥吉田義尚さん（結婚記念日祝ありがとうございます。又連続欠席スミマセン）（マイ箸採用おめでとうありがとうございます。大部時間がかかりましたネ！）♥酒井睦雄さん（清水先生卓話嬉しく聞きます）♥越智正典さん（清水さん卓話ありがとうございます。よろしくお願い致します）♥鷲佳弘さん（会員の皆様にはご心配をおかけ致しましたが、退院致しました。又誕生日有難うございます）以上、12件

★結婚祝



山城孝一さん
(10月7日)

息子の誕生日が10月2日で息子も28歳。28回目という話をつい最近妻と話していたところ。ずっと続くようにお互い協力していきたい。



吉田義尚さん
(10月13日)

今年で48回目。東京オリンピックの時に結婚した。式場の関係で仏滅に結婚した。新婚旅行は東北で、那須、飯坂温泉、仙台の松島へ行った。国分町で初めてのホヤを食べた思い出がある。



黒須幸雄さん
(10月15日)

今年で47日目。よくもったもんだなあと思えます。

◆会長挨拶ならびに報告



8日ノーベル医学生理学賞に京都大学の山中伸弥教授が受賞したと報じられ、世間ではその話題でもちきりです。受賞前の3月の京都マラソンで「完走するので寄付を」と、研究費の捻出のために寄付をインターネット上で募っていたほどだ。2年前に日本のノーベル賞である京都賞を受賞したが、その時にはそれほど話題にはならなかった。しかし、今回のノーベル賞の影響は大きく、政府から早速10年間で200～300億の予算を援助する方針がきまった。さらに受賞翌日の9日の時点でインターネットによる一般の寄付が既に360万が集まったようだ。

ノーベル賞の賞金は、生涯独身であったアルフレッドノーベルの遺産のすべて約500億を運用してその収益金をノーベル賞の賞金に充てている。ノーベル賞は6分野あるが、1分野800万クローネ、日本円で約8,800万円になる。今回の山中教授の受賞はイギリス人との共同研究によるもので、賞金は半分の約4,400万円になると思われる。

また、京都賞の原資は600億で、毎年3部門で合計1億5千万の賞金である一方、ノーベル賞は6分野合計で4,800万クローネ、日本円で約5億3千万になる。京都賞の母体である稲盛財団より、ノーベル財団の方が資金運用がうまいということであろうか。

今日はノーベル文学賞の発表があり有力候補として村上春樹氏の名前が挙がっている。夜の発表を待ちたいと思います。

10月は職業奉仕月間・米山月間